

『翻譯老乞大』に見られる墨書について

竹越 孝

1. はじめに

いわゆる『翻譯老乞大』は、崔世珍(1467-1543)の手になるとされる『老乞大』の諺解書で、『翻譯朴通事』とともに『四聲通解』(1517)以前には成立していたことが知られている。安秉禧(1996)によれば、現存する全二巻の木版本は乙亥(1455)鋳字本を覆刻したものであるという。上巻は中央大學校(1972)、下巻は仁荷大學校(1975)、上下巻を合わせたものは亞細亞文化社(1980)により影印されている。

同書の中には原所蔵者が記したと思われる墨書が認められる。本稿では、そこに見られるいくつかの記号、具体的には境界を表す「一」と「一」、及び話者を表す「○」と「\」について検討することにしたい。

なお、安秉禧(1996)によれば、原本では匡郭外に誤脱を訂正した墨書や補印が多数認められるが、影印の段階ですべて削除されており、また匡郭内でも音注に筆を加えた箇所が影印では見分けがつかないので、その利用に当たっては格段の注意が必要であるという。言うまでもなく、こうした問題を論じるためには実見による調査が不可欠であるが、現段階でそれはかなわないので、本稿の記述はあくまで現行の影印本から観察できる範囲に限られることをお断りしておく。

2. 『老乞大』・『朴通事』諸本における套話境界

『翻譯老乞大』に見られる墨書について検討する前に、まず現存する『老乞大』・『朴通事』諸本における套話境界の表示方法を確認しておきたい。新本(今本)系の『老乞大』・『朴通事』及び清代改訂本の『朴通事』は全106話、清代改訂本の『老乞大』は全111話の構成を持つが、その套話境界を示す方法には次の五つがある：

- (a) 表示しない。
- (b) 改行する。
- (c) 改行せず二葉花紋魚尾を付ける。
- (d) 改行せず○印を付ける。
- (e) 改行して二葉花紋魚尾を付ける。

現存の諸本が取っている方法は下表の通りである。このうち漢字本『老乞大』(甲寅字覆刻本、弘文館旧蔵本、侍講院旧蔵本の三種四本)及び肅宗版漢字本

『老乞大』の状況は安秉禧（1996）の記述による：

	漢字本	諺解本
無表示	『旧本老乞大』（14c）、漢字本『老乞大』（刊年不明）	『翻譯老乞大』（1517 以前）
改行	『朴通事新釋』（1765 以前）	『翻譯朴通事』（1517 以前）、『朴通事諺解』（1677）、『朴通事新釋諺解』（1765）、『重刊老乞大諺解』（1795 以後）
花紋魚尾		顕宗本『老乞大諺解』（1670）、平安監當重刊本『老乞大諺解』（1745）
○印	『老乞大新釋』（1761）、『重刊老乞大』（1795）	
改行+花紋魚尾	肅宗版漢字本『老乞大』（1703）	

なお、漢字本『老乞大』のうち弘文館旧蔵本と侍講院旧蔵本の奎 6293（『奎章閣叢書』第 9 所収本）では套話境界に「一」の記号が墨書され、それは『老乞大諺解』の境界と一致するという。

テキストが刊行された時点で套話境界の表示がなされているのは、『老乞大』では顕宗本『老乞大諺解』（花紋魚尾）、『朴通事』では『翻譯朴通事』（改行）が最も早いと言える。興味深いのは、同じ編者の手になるとされる『翻譯老乞大』と『翻譯朴通事』で表示方法が異なることである。上の状況から見て、套話境界を表示しないものが最もプリミティブな形式と思われるから、この相違は『翻譯老乞大』の方が相対的に早く成立したことを示唆している。これは『翻譯老乞大』と『翻譯朴通事』の音注・用字体系に差異が見られることを示した遠藤光暁（2006）の指摘と符合し、また『老朴集覽』との相互関係からみて『翻譯老乞大』が『翻譯朴通事』よりも先に成立したとする拙稿（2006）の予想とも矛盾しない。

3. 『翻譯老乞大』における墨書

『翻譯老乞大』には、「一」や「一」によって境界を示した箇所と、「○」や「\」によって話者を示した箇所がある。これらの記号は第 1 話から第 18 話までに相当する部分（巻上 1a2-25b7）に見られるので、以下に通し番号を付した上で用いられた記号と漢字本文を引用する。

『老乞大諺解』の境界に基づく套話番号は【 】内に示す。また、参考として Dyer（1983；漢字本『老乞大』に基づく）及び金文京等（2002；『翻譯老乞大』

に基づく) が推定した話者の区別を各発話末尾の [] 内に示した。略称は以下の通り :

Dyer (1983) : [W] Wang (Chinese) ; [K] Korean ; [C] Chinese ; [I] Innkeeper ;
[Wo] Woman

金文京等 (2002) : [漢] 漢人 (姓王) ; [高] 高麗人 ; [主] 宿の主人 ; [嫂]
宿の女将

なお、途中「○」と「、」が重なって記された箇所があり、以下ではこれを「◎」で表す。発話内の句読は「。」または「？」を用いた。

- (1) **[1]** ○大哥。你從那裏來？ [W 漢]
- (2) 、我從高麗王京來。 [K 高]
- (3) ○如今那裏去？ [W 漢]
- (4) 、我往北京去。 [K 高]
- (5) ○你幾時離了王京？ [W 漢]
- (6) 、我這月初一日離了王京。 [K 高]
- (7) ○既是這月初一日離了王京。到今半箇月。怎麼纔到的這裏？ [W 漢]
- (8) 、我有一箇火伴。落後了來。我沿路上慢慢的行着等候來。因此上。來的遲了。 [K 高]
- (9) ○那火伴如今赶上來了不會？ [W 漢]
- (10) 、這箇火伴便是。夜來纔到。 [K 高]
- (11) ○你這月盡頭。到的北京麼。到不得？ [W 漢]
- (12) 、知他。那話怎敢說。天可憐見。身己安樂時。也到。 [K 高]
- (13) **[2]** ○你是高麗人。却怎麼漢兒言語說的好？ [W 漢]
- (14) 、我漢兒人上學文書。因此上。些少漢兒言語省的。 [K 高]
- (15) ○你誰根底學文書來？ [W 漢]
- (16) 、我在漢兒學堂裏。學文書來。 [K 高]
- (17) ○你學甚麼文書來？ [W 漢]
- (18) 、讀論語孟子小學。 [K 高]
- (19) ○你每日做甚麼工課？ [W 漢]
- (20) 、每日清早晨起來。到學裏。師傅上受了文書。放學。到家裏喫飯罷。去到學裏寫做書。寫做書罷對句。對句罷吟詩。吟詩罷師傅前講書。 [K 高]
- (21) ○講甚麼文書？ [W 漢]
- (22) 、講小學論語孟子。 [K 高]
- (23) **[3]** ○說書罷又做甚麼工課？ [W 漢]
- (24) 、到晚。師傅前撒簽背念書。背過的。師傅與免帖一箇。若背不過時。教當直的學生背起。打三下。 [K 高]

- (25) ○怎的是撒簽背念書？怎的是免帖？〔W 漢〕
- (26) 一、每一箇竹簽上。寫着一箇學生的姓名。衆學生的姓名。都這般寫着。一箇簽筒兒裏盛着。教當直的學生。將簽筒來搖動。內中撒一箇。撒着誰的。便着那人背書。背念過的。師傅與免帖一箇。那免帖上。寫着免打三下。師傅上頭畫着花押。若再撒簽試不過。將出免帖來毀了。便將功折過免了打。若無免帖。定然喫打三下。〔K 高〕
- (27) 【4】 ○你是高麗人。學他漢兒文書怎麼？〔W 漢〕
- (28) 一、你說的也是。各自人都有主見。〔K 高〕
- (29) ○你有甚麼主見。你說我聽着。〔W 漢〕
- (30) 一、如今朝廷一統天下。世間用着的是漢兒言語。我這高麗言語。只是高麗地面裏行的。過的義州。漢兒地面來。都是漢兒言語。有人問着一句話。也說不得時。別人將咱們。做甚麼人看？〔K 高〕
- (31) ○你這般學漢兒文書時。是你自心裏學來。你的爺娘教你學來？〔W 漢〕
- (32) 一、是我爺娘教我學來。〔K 高〕
- (33) ○你學了多少時節？〔W 漢〕
- (34) 一、我學了半年有餘。〔K 高〕
- (35) ○省的那省不的？〔W 漢〕
- (36) 一、每日和漢兒學生們。一處學文書來。因此上。些少理會的。〔K 高〕
- (37) 【5】 ○你的師傅是甚麼人？〔W 漢〕
- (38) 一、是漢兒人有。〔K 高〕
- (39) ○多少年紀？〔W 漢〕
- (40) 一、三十五歲了。〔K 高〕
- (41) ○耐繁教那不耐繁教？〔W 漢〕
- (42) 一、我師傅性兒溫克。好生耐繁教。〔K 高〕
- (43) ○你那衆學生內中。多少漢兒人。多少高麗人？〔W 漢〕
- (44) 一、漢兒高麗中半。〔K 高〕
- (45) ○裏頭也有頑的麼？〔W 漢〕
- (46) 一、可知有頑的。每日學長。將那頑學生。師傅上稟了。那般打了時。只是不怕。漢兒小廝們。十分頑。高麗小廝們較好些。〔K 高〕
- (47) 【6】 一◎大哥。你如今那裏去？〔K 高〕
- (48) 一、我也往北京去。〔W 漢〕
- (49) ◎你既往北京去時。我是高麗人。漢兒地面裏不慣行。你好歹拖帶我。做火伴去。〔K 高〕
- (50) 一、這們時。咱們一同去來。〔W 漢〕
- (51) ◎哥哥。你貴姓？〔K 高〕
- (52) 一、我姓王。〔W 漢〕

- (53) ◎你家在那裏住？〔K 高〕
- (54) 丶我在遼陽城裏住。〔W 漢〕
- (55) ◎你京裏有甚麼勾當去？〔K 高〕
- (56) 丶我將這幾箇馬賣去。〔W 漢〕
- (57) ◎那般時最好。我也待賣這幾箇馬去。這馬上馳着的些少毛施布。一就待賣去。〔K 高〕
- (58) 丶你既賣馬去時。咱們恰好做火伴去。〔W 漢〕
- (59) 【7】◎哥哥。曾知得。京裏馬價如何？〔K 高〕
- (60) 丶近有相識人來說。馬的價錢。這幾日好。似這一等的馬。賣十五兩以上。這一等的馬。賣十兩以上。〔W 漢〕
- (61) ◎曾知得。布價高低麼？〔K 高〕
- (62) 丶布價如往年的價錢一般。〔W 漢〕
- (63) ◎京裏喫食貴賤？〔W 高〕
- (64) 丶我那相識人會說。他來時。八分銀子一斗粳米。五分一斗小米。一錢銀子十斤麵。二分銀子一斤羊肉。〔W 漢〕
- (65) ◎似這般時。我年時在京裏來。價錢都一般。〔K 高〕【8】咱們今夜那裏宿去？〔K 高〕
- (66) 丶咱們往前行的。十里來田地裏。有箇店子。名喚瓦店。咱們到時。或早或晚。只那裏宿去。若過去了時。那邊有二十里地。没人家。〔W 漢〕既那般時。前不着村。後不着店。咱們只投那裏宿去。〔K 高〕到那裏。便早時也好。咱們歇息頭口。明日早行。〔W 漢〕
- (67) ◎這裏到京裏。有幾程地？〔K 高〕
- (68) 丶這裏到京裏。還有五百里之上。天可憐見。身子安樂時。再着五箇日頭到了。〔W 漢〕
- (69) ◎咱們到時。那裏安下好？〔K 高〕
- (70) 丶咱們往順城門官店裏下去來。那裏就便投馬市裏去却近些。〔W 漢〕
- (71) ◎你說的是。我也心裏那般想着。〔K 高〕
- (72) 丶你說的恰和我意同。只除那裏好。〔高〕但是遼東去的客人們。別處不下。都在那裏安下。〔漢〕我年時也在那裏下來。十分便當。〔W 高〕
- (73) 【9】一〇你這幾箇頭口。每夜喫的草料。通該多少錢？〔K 漢〕
- (74) 丶這六箇馬。每一箇五升料一束草。通算過來。盤纏着二錢銀子。〔高〕這六箇馬。每夜喫的草料不等。草料貴處。盤纏三四錢銀子。草料賤處。盤纏二錢銀子。〔W 漢〕
- (75) ○這箇馬也行的好。〔W 漢〕
- (76) 丶可知有幾步慢竄。〔W 高〕
- (77) ○除了這箇馬。別箇的都不好。〔W 高〕

- (78) 一〇你這馬和布子。到北京賣了時。却買些甚麼貨物。迴還高麗地面裏賣去？〔W 漢〕
- (79) 丶我往山東濟寧府東昌高唐。收買些絹子綾子緜子。迴還王京賣去。〔K 高〕
- (80) 〇到你那地面裏。也有些利錢麼？〔W 漢〕
- (81) 丶那的也中。我年時。跟着漢兒火伴。到高唐。收買些緜絹。將到王京賣了。也尋了些利錢。〔K 高〕
- (82) 【10】〇你那綾絹緜子。就地頭多少價錢買來。到王京多少價錢賣？〔W 漢〕
- (83) 丶我買的價錢。小絹一匹三錢。染做小紅裏絹。綾子每匹二兩家。染做鴉青和小紅。絹子每匹。染錢二錢。綾子每匹染錢。鴉青的三錢。小紅的二錢。又緜子每一斤。價錢六錢銀子。到王京。絹子一匹。賣細麻布兩匹。折銀一兩二錢。綾子一匹。鴉青的賣布六匹。折銀子三兩六錢。小紅的賣布五匹。折銀子三兩。緜子每四兩。賣布一匹。折銀子六錢。通滾算着。除了牙稅繳計外。也尋了加五利錢。〔K 高〕
- (84) 【11】〇你自来。到京裏。賣了貨物。却買緜絹。到王京賣了。前後住了多少時？〔W 漢〕
- (85) 丶我從年時正月裏。將馬和布子。到京都賣了。五月裏到高唐。收起緜絹。到直沽裏上船過海。十月裏到王京。投到年終。貨物都賣了。又買了這些馬并毛施布來了。〔K 高〕
- (86) 【12】〇這三箇火伴。是你親眷那。是相合來的？都不曾問。姓甚麼。〔W 漢〕
- (87) 丶這箇姓金。是小人姑舅哥哥。這箇姓李。是小人兩姨兄弟。這箇姓趙。是我街坊。〔K 高〕
- (88) 〇你是姑舅弟兄。誰是舅舅上孩兒？誰是姑姑上孩兒？〔W 漢〕
- (89) 丶小人是姑姑生的。他是舅舅生的。〔K 高〕
- (90) 〇你兩姨弟兄。是親兩姨那。是房親兩姨？〔W 漢〕
- (91) 丶是親兩姨弟兄。我母親是姐姐。他母親是妹子。〔K 高〕
- (92) 〇你既是姑舅兩姨弟兄。怎麼沿路穢語不迴避？〔W 漢〕
- (93) 丶我一們不會體例的人。親弟兄也不隔話。姑舅兩姨更那裏問？〔K 高〕【13】咱們閑話且休說。那店子便是瓦店。尋箇好乾淨店裏下去來。歇頭口着。〔W 漢〕
- (94) 〇街北這箇店子。是我舊主人家。咱們只這裏下去來。〔W 漢〕
- (95) 一拜揖主人家哥。〔W 漢〕
- (96) 丶噯却是王大哥。多時不見。好麼好麼？你這幾箇火伴。從那裏合將來？〔I 主〕
- (97) 丶我沿路相合着。做火伴北京去。你這店裏草料都有阿沒？〔W 漢〕
- (98) 丶草料都有。料是黑豆。草是秆草。〔I 主〕

- (99) 丶是秆草好。若是稻草時。這頭口們多有不喫的。黑豆多少一斗。草多少一束？〔W 漢〕
- (100) 丶黑豆五十箇錢一斗。草一十箇錢一束。〔I 主〕
- (101) 丶是真箇麼？你却休瞞我。〔W 漢〕
- (102) 丶這大哥。甚麼言語。你是熟客人。咱們便是自家裏一般。我怎麼敢胡說。怕你不信時。別箇店裏試商量去。〔I 主〕
- (103) 丶我只是這般說。〔I 漢〕【14】我共通十一箇馬。量着六斗料與十一束草着。這利刀不快。許多草幾時切得了。主人家。別處快利刀借一箇來。〔W 漢〕
- (104) 丶這們時。我借去。這利刀是我親眷家的。他不肯。我哀告借將來。風刃也似快。你小心些使。休壞了他的。〔I 主〕
- (105) 一、這火伴你切的草忒麤。頭口們怎生喫的？好生細細的切着。〔W 漢〕
- (106) 丶這火伴你敢不會煮料。你燒的鍋滾時。下上豆子。但滾的一霎兒。將這切的草。豆子上蓋覆了。休燒火。休教走了氣。自然熟了。〔W 漢〕
- (107) 【15】一、客人們。你打火那不打火？〔I 主〕
- (108) 丶我不打火喝風那？你疾快做着五箇人的飯着。〔W 漢〕
- (109) 丶你喫甚麼飯？〔I 主〕
- (110) 丶我五箇人。打着三斤麵的餅着。我自買下飯去。〔W 漢〕
- (111) 丶你買下飯去時。這間壁肉案上買猪肉去。是今日殺的好猪肉。〔I 主〕
- (112) 丶多少一斤？〔W 漢〕
- (113) 丶二十箇錢一斤。〔I 主〕
- (114) 丶你主人家。就與我買去。〔W 漢〕
- (115) 丶買一斤肉着。休要十分肥的。帶肋條的肉買着。大片兒切着。炒將來着。〔W 漢〕
- (116) 【16】一、主人家。迭不得時。咱們火伴裏頭。教一箇自炒肉。〔W 漢〕
- (117) 丶我是高麗人。都不會炒肉。〔K 高〕
- (118) 丶有甚麼難處？刷了鍋着。燒的鍋熱時。着上半盞香油。將油熟了時。下上肉。着些塩。着筋子攪動。炒的半熟時。調上些醬水生葱料物拌了。鍋子上蓋覆了。休着出氣。燒動火。一霎兒熟了。〔W 漢〕
- (119) 丶這肉熟了。你嘗看。鹹淡如何。〔W 高〕
- (120) 丶我嘗得。微微的有些淡。再着上些塩着。〔C 漢〕
- (121) 一、主人家。餅有了不曾？〔W 漢〕
- (122) 丶將次有了。你放卓兒先喫。比及喫了時。我也了了。〔I 主〕
- (123) 【17】一、主人家。我明日五更頭早行。咱們筭了房錢火錢着。我這一宿人馬。盤纏通該多少？〔W 漢〕
- (124) 丶你稱了三斤麵。每斤十箇錢。該三十箇錢。切了一斤猪肉。該二十箇錢。四箇人。每人打火房錢十箇錢。該四十箇錢。黑豆六斗。每斗五十箇錢。該

- 三百箇錢。草十一束。每束十箇錢。該一百一十錢。通該五百箇錢。〔I 主〕
- (125) 〱我草料麵。都是你家裏買來的。你減了些箇如何？〔W 漢〕
- (126) 〱罷罷。只將四百五十箇錢來。〔I 主〕
- (127) 〱既這般時。火伴你三箇。一發都出了着。記着數目。到北京時。一發筭除。〔W 漢〕
- (128) 〱那般時。我都與他。〔C 高〕
- (129) 【18】一〱火伴你將料撈出來。冷水裏拔着。等馬大控一會。慢慢的喂着。初喂時。只將料水拌與他。到五更一發都與料喫。這般時。馬們分外喫得飽。若是先與料時。那馬只揀了料喫。將草都拋撒了。勞困裏休飲水。等喫一和草時飲。〔W 漢〕
- (130) 一〱咱們各自睡些箇。輪着起來勤喂馬。今日是二十二。五更頭。正有月明。雞兒叫。起來便行。〔W 漢〕
- (131) 一〱主人家。點箇燈來。我整理睡處。〔W 漢〕
- (132) 〱這的燈來了。〔W 主〕
- (133) 〱壁子上掛着。這般精土炕上。怎的睡？有甚麼藁薦。將幾領來。〔W 漢〕大嫂。將藁薦席子來。與客人們鋪。〔I 主〕席子沒。這的三箇藁薦與你鋪。〔Wo 嫂〕
- (134) 【19】一〱主人家。你種着火。我明日五更頭早行。〔W 漢〕…（以下略）

4. 境界の表示

以下では、上に見られる記号が表す意味について検討することにした。『翻譯老乞大』では何らかの境界を表示したのものとして、次の二種類の記号が用いられている。それぞれの例文番号と張・表裏・行は以下の通り：

一：(47) 7b3；(73) 11b6.

一：(78) 12b3；(95) 17b1；(105) 19b3；(107) 20a6；(116) 21a6；(121) 22a8；(123) 22b3；(129) 24a4；(130) 24b9；(131) 25a6；(134) 25b7.

これを『老乞大諺解』の套話境界と照らし合わせてみると、次のように 7 例が一致し 6 例が一致しない：

一致する：(47) 第 5 話と第 6 話；(73) 第 8 話と第 9 話；(107) 第 14 話と第 15 話；(116) 第 15 話と第 16 話、(123) 第 16 話と第 17 話、(129) 第 17 話と第 18 話、(134) 第 18 話と第 19 話。

一致しない：(78) 第 9 話途中；(95) 第 13 話途中；(105) 第 14 話途中；(121) 第 16 話途中；(130) 第 18 話途中；(131) 第 18 話途中。

「一」を用いた 2 例はいずれも『老乞大諺解』と一致している。この記号が表す意味については次節で述べる。

一方、「一」を用いた 11 例では 5 例が一致し 6 例が一致しないので、この記

号は少なくとも『老乞大諺解』に基づいて套話境界を示したものではないと言える。これが『老乞大諺解』以前における套話境界を反映している可能性もあるが、(105)と(107)、(121)と(123)、(129)と(130)と(131)ではそれぞれの間隔が短すぎるので、套話の境界とするには疑問が残る。挨拶や呼びかけ(95、107、116、121、123、131、134)の部分に多く用いられていることからすると、あるいはそのマークであったのかも知れない。

5. 話者の表示

話者を表示したと思われる記号には「○」と「\」があり、これを次の三種の表示形式に分けることができる：

○と\：(1-46) 第1話～第5話；(73-94) 第9話～第13話途中

◎と\：(47-72) 第6話～第8話

\のみ：(95-133) 第13話途中～第18話

まず、「◎」とした「○+\」の記号は、「○」と「\」で話者が表示される部分(第1-5話、第9-13話途中)の間に用いられ、その最初と最後に「一」が付されている。この部分は前後と同様に漢人と高麗人の対話で話が進む、つまり登場人物は二人であるから、特別の記号を用いて第三の人物を示す必然性があったとは考えられない。この記号が用いられるに至った背景には、「\」のみで示されていた部分に対して後に「○」を付加したという可能性と、「○」と「\」で示されていた部分の「○」に対して後に「\」を付加したという可能性の二つが考えられるが、分布から見て前者の可能性は低い。

おそらく、墨書をなした人物にあつては当初漢人を「○」で、高麗人を「\」で表記するという方針を持っていたと思われる。その方針に基づいて機械的に二種類の記号を付していくと、第5話末尾の(46)と第6話冒頭の(47)がいずれも高麗人の科白であるために、漢人が「\」、高麗人が「○」といった具合に対応がずれていってしまう。そこで、後にこのことに気付いた人物がこの「○」は本来高麗人の科白であるという意味で「\」を付加し、さらにその修正を施した箇所が(47)から(72)までであることを示すために「一」の記号を付したのであろう。以上の点は、(73)以降になると漢人「○」、高麗人「\」というように表示が旧に復していることから窺われる。なお、全面的に修正しようとするれば「○」を「\」に改めること(漢人→高麗人)と同時に「\」を「○」に改めること(高麗人→漢人)も必要になるはずだが、それを行ってしまうと両者の記号が全く同じになり判別できなくなるので憚られたのであろう。

このように考えれば、第13話の途中からそれまでの「○」と「\」から「\」のみへと表示方法が変わっていることも理解しやすい。それまで漢人と高麗人の対話で進行していたものが、(96)から第三の人物である宿の主人が登場する

ためである。おそらく、ここで人物ごとに記号を割り振るという方針が放棄され、話者が転換する場合一律に「\」の記号を付すという方針に変更されたものと思われる。そして、第18話の末に第四の人物である宿の女将が登場するところで記号が見られなくなるのは、こうした処理は無意味であるとして話者の表示自体をあきらめたということであろう。

そもそも、一種類もしくは二種類の記号で表示できるのは登場人物が二人の場合までである。話者を示す記号は、『老乞大』全体の構成をいまだ理解していなかった人物が、方針を変更しつつ手探りで付していったものと考えられる。

6. おわりに

『老乞大』・『朴通事』諸本のみならず、朝鮮の司訳院が編纂に関与した漢語教科書類においては、全体を套話に分けるという発想はあっても話者を区別するという発想はないように思われる。この点は、同じく対話の形式をとる周辺資料でも、話者を「客」と「主」に分ける宣教師資料『賓主問答私擬』(1584頃)や、「賓」と「主」に分ける満洲語資料『滿漢成語對待・雑話』(1702)等と決定的に異なる。これには、司訳院の漢語教科書類がその成立当初から読解用のテキストではなく、暗誦用のテキストであったことが大きく与っている。

Dyer (1983 : 302) や金文京等 (2002 : 3) が説くように、現存する『老乞大』のテキストについて話者を区別し比定することには大きな困難が伴う。その困難な作業に挑んだ人物がかつて朝鮮半島に存在したこと、その人物にとっても話者の比定が一筋縄ではいかなかったことを、この墨書は物語っている。

<参考文献>

- 亜細亜文化社 1980 『原本老乞大諺解(全)』, 國語國文學資料叢書, 亜細亜文化社.
安秉禧 1996 「『老乞大』 oa gy 諺解書 yi 異本」, 『人文論叢』 35 : 1-20.
遠藤光暁 2006 「『翻訳老乞大・朴通事』に存在する注音・用字上の内部差異について」,
『KOTONOHA』 38 : 1-5.
金文京・佐藤晴彦・玄幸子(鄭光監修) 2002 『老乞大—朝鮮中世の中国語会話読本—』,
東洋文庫 699, 平凡社.
仁荷大學校 1975 『翻譯老乞大・卷下』, 仁荷大學校附設人文科學研究所.
竹越孝 2006 「『老朴集覽』と『翻譯老乞大・朴通事』の編纂順序」, 『東ユーラシア言語
研究』 1 : 150-160, 好文出版.
中央大學校 1972 『翻譯老乞大・卷上』, 中央大學校大學院.
Dyer, Svetlana Rimsky-Korsakoff 1983 *Grammatical Analysis of the Lao Ch'i-ta with an
English Translation of the Chinese Text*, Canberra: Australian National University.